



野口姉が尊敬していた宣教師のベーカーさん

神様の愛をもって私たち日本人を愛し
仕えてくださったカナダ人宣教師のベー
カーさん。

1950年代に来日。保谷市（現在の西東
京市）に住んでいました。

カイロプラクティックのドクターでもあ
り、無償で多くの方々の治療もしていま
した。

野口さんはベーカーさんの買い物のお
手伝いなどをしておられました。

愛はきわめて忍耐強く、親切です。

愛は決してねたみません。 また、決して自慢せず、高慢になりません。

決して思い上がりせず、自分の利益を求めず、無礼なふるまいをしません。

愛は自分のやり方を押し通そうとはしません。 また、いらいらせず、腹を立てません。

人に恨みをいだかず、人から悪いことをされても、気にしません。

決して不正を喜ばず、真理が勝つ時は、いつも喜びます。

だれかを愛する人は、どんな犠牲をはらっても、誠実であろうとします。

また、いつもその人を信じ、その人に最善を期待し、いのちがけで、その人を守り抜くでしょう。

神様からいただいた特別の賜物や力は、いつかは尽きるものです。

しかし、愛は永遠に続きます。

預言すること、人の知らないことばで語ること、特別な知識などの賜物は、やがて消え去ります。

たとい、特別な才能が与えられていても、いま私たちの知っていることは、ほんの一部にすぎません。

また、最高の才能に恵まれた人の説教でも、貧弱なものです。

いつまでも残るものが三つあります。 信仰と希望と愛です。

その中で一番すぐれたものは愛です。

愛を、最高の目標にしましょう。

(新約聖書・コリント人への手紙 13 章より抜粋)



保谷福音センターの皆さん(1970年代)



野口姉の遺骨が埋葬された共同墓地

「復活」と刻まれた共同墓地

当初、野口さんがご主人とご自分のために購入された墓地でしたが、1982年、教会の共同墓地として利用してくださいとの申し出がありました。お陰様で24体分の納骨ができるようになりました。

イエス様は、「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」とおっしゃいました。

「復活」の文字は、イエス様が私たちが朽ちることのない新しい栄光の体に復活させてくださるとの約束のお言葉です。



富士霊園見学（1982年）



保谷の教会の皆さんと（1986年）



所沢の教会の皆さんと（1988年）



森林公園ピクニック（1989年）



深澤姉の昇天記念集会（所沢）にて(1991年)



軽井沢自然植物園にて(1992年)



高麗聖書教会にて(1993年)



軽井沢白糸の滝にて(1993年)



恵みシャレー軽井沢にて(1994年)



軽井沢白糸の滝にて(1994年)



大野フクさんの洗礼式(飯能市吾野)にて(1994年)



メリーさんを送る会（東吾野公民館）（1994年）



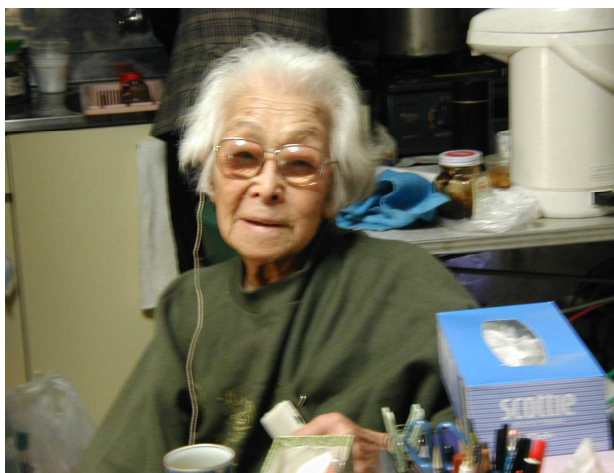
宣教師メリーさんを送る会（東吾野公民館）にて（1994年11月）

幸いなことよ。
悪者のはかりごとに歩まず、
罪人の道に立たず、
あざける者の座に着かなかった、その人。
まことに、その人は主のおしえを喜びとし、
昼も夜もそのおしえを口ずさむ。
その人は、
水路のそばに植わった木のようにだ。
時が来ると実がなり、その葉は枯れない。
その人は、何をしても栄える。

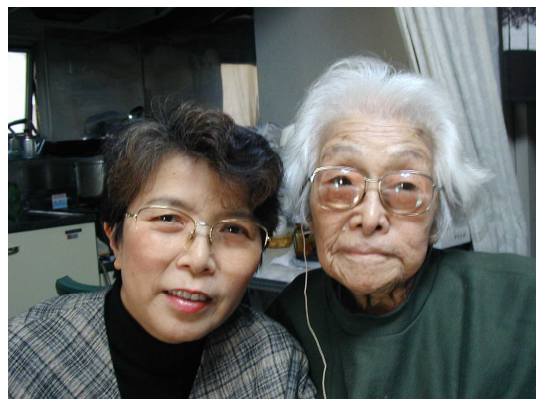
(旧約聖書・詩篇 1:1-3)



石神井のアパートで(2001年)



石神井のアパートで(2001年)



石神井のアパートで(2001年)



石神井のアパートで(2001年)

主は私の羊飼い。
私は、乏しいことはありません。
主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。
主は私のたましいを生き返らせ、
御名のために、私を義の道に導かれます。

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、
私はわざわざいを恐れません。
あなたが私とともにおられますから。
あなたのむちとあなたの杖、
それが私の慰めです。
私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、
私の頭に油をそそいでくださいます。
私の杯は、あふれています。
まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと
恵みとが、私を追って来ましょう。
私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

(旧約聖書・詩篇 23:1-6)



ベストライフ府中(2003年)



自分の娘のように思っておられた重永久美さん(右)と野口さんを最後までお世話された重永雅子さん(2003年)

私たちの国籍は天にあります。

そこから主イエス・キリストが救い主として

おいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

(新約聖書・ピリピ人への手紙 3:20-21)



福島夫妻(2003年)

野口まさ姉の納骨式にて (富士霊園・2007年4月27日)



♪～われらついに 輝く御国にて 聖き民と 共に御前に会わん♪～



納骨式後の写真